

# CS通信

訓子府町 CS・学校運営協議会

地域みんなで学校応援団  
これまでのCS通信や学校運営協議会に  
関する情報はこちらへ 《訓子府町HP》→



## CS(コミュニティ・スクール) 第3回学校運営協議会の開催

今年度3回目の学校運営協議会を2月28日に公民館多目的ホールで開催しました。まず、こども園、各学校から現在の状況や後期学校評価結果について報告がありました。各学校とも前期の評価をもとに学校改善に取り組み、後期の評価が上がっていました。園長・校長のリーダーシップのもと、前期の評価が低かった部分を課題として、後期に立てた対策や取組について話されていました。

**<認定こども園>** 後期はアンケート内容を一新した。後期は感染症対策に関して評価が低かった。年末4歳児の学級閉鎖をした。手洗い、うがいはもとより学級閉鎖も感染症対策にあたる。閉鎖後は感染拡大を起こさなかった。しかし、学級閉鎖をすると元気な子の親も1週間程度休まなくてはならず、何とかならないか、ということもあった。園としては「学級閉鎖もある」と分かってほしい。評議員会議の中から、「名前の呼び捨て」が話題に上がった。お兄ちゃんお姉ちゃんお父さんお母さんと呼ばない家庭が増えてきている。名前で呼ぶようにしている。多様化している。保護者対応が難しくなっている。

**<訓子府小学校>** 「訓子府小学校学校評価レーダーチャート」より。後期は、レーダーチャートの青○が成果として評価されている。「イジメ対応の徹底」「端末を使った家庭学習」「端末の効果的な活用」など。昨年からの課題は赤○で表示している。「学習観の転換(先生が教えたいから子どもが学びたいへ)」「主体的に行動する力(自己表出・自己決定の場の創出)」となっている。



**<居武士小学校>** 「前期より改善されてきた」との評価を保護者から受けとっている。評議員会議では、「もっと保護者や地域の力を借りて、子どもの悩みを解決できるように」「学習の定着を図り、行事の精選を行う」「家庭も地域も働き方改革で行事を精選し、お互い支え合ってほしい」という意見が出された。

**<訓子府中学校>** 「決まりの遵守や基本的な生活習慣の定着」「家庭学習や生活リズムの習慣化」が先生方より保護者の評価が低かった。子どもたちの評価では、「計画的な家庭学習」「読書への関心・意欲」「テレビやゲームの時間」について低かった。家庭学習1時間未満の子が多い。自ら進んで家庭学習をやらないと力がかからない。自由記述では、「教育委員会の協力もありトイレが改善された」の項目が上がった。他には保護者から「校内における生徒の問題行動」を指摘する声が複数上がっている。学校として「様々な特徴をもった生徒も一緒に学んでいる。学校としても保護者・関係機関と連携しながら日々歩んでいる」との回答を行った。

**<訓子府高校>** 保護者の中には「学校の情報が入ってこない」という声があった。若い担任が多く、困っている生徒へは手厚く指導しているが、保護者や地域へ向けた発信が足りないと感じている。今回からQRコードを使用したアンケートを行った。気になる評価が2つ。保護者の中で「本校に入学させて良かったか」と、生徒の「悩みを先生やカウンセラーに相談しているか」の2つが校長として気になった。自分を出せない生徒が多いと感じる。それでも1年生の壁を乗り越えようと今の1年生は頑張っている。今の3年生も1年生の時とは心配であったが、3年生になって第1希望への進学・就職が実現するまで成長してきている。

このあと、事務局より前回の会議で説明が足りなかった部分「義務教育学校と小中一貫校の違い」について再度説明がありました。次に、園長・校長を除く、協議会委員の方々にご意見・ご感想をいただきました。話の観点としまして、①この1年間を振り返って、②今後の訓子府町の小中学校の在り方について、お話しいただきました。いろんな立場の方からの貴重な意見をいただきました。要約して載せさせていただきます。

**<A委員>**一地域に密着することは大事。地域や周りの人の関りで子どもたちは守られている。訓子府は手厚いと私は思う。可能な限り地域との密着は続けてほしい。今後の訓子府の在り方は、小中一貫校に進むことは賛成。人は半減したのだから施設は少なく、より濃いものにしていく。

**<B委員>**一生徒間の問題があっても、先生方は真摯に取り組んでいる。安心した。信頼感が出た。今後、義務教育学校、小中一貫校を考えたとき、義務教育学校の方がいいだろうと考える。流れ的にもスムーズでいい。部活動に関しても中学生が小学生に教えるとか連携がとりやすくなる。部活動もいい方向に行くのかなと個人的には思う。

**<C委員>**一（学校の評議員、CS会議を通して）勉強させられた。進化した。授業でタマネギの発表があった。「何で調べたの?」「インターネット」お父さんお母さんに聞けばいいのに。簡単に調べていいのか?話を聞く、地域に聞くがいいと思った。訓子府町の今後の在り方では、いい方向に進んでくれればと思う。義務教育学校になっていくのかな?現役世代に任せる。

**<D委員>**一元気に歩いて登校できる毎日が一番。

**<E委員>**一評議員会議では、先生方が一生懸命で安心している。学校の在り方は、それぞれの立場で考えてくれていると思う。子どものことを一番に考えて決めてほしい。

**<F委員>**一評議員会議に参加だけで現場は見えていないが、先生方と話して現状を教えてもらえる。同じ町内でも、積極的に情報を取り入れないとわからない。一般の人にもわかるようにならないか。訓子府町の将来は、義務教育学校になっていくと思う。大事にしてほしい。今できることを大事にしてほしい。

**<G委員>**一連携できるいい部分があるはず。地元で一貫して目線を合わせて話してできるといい。こども園では、コドモンのアプリで毎日写真がアップされる。どうしているか連携が目に見える。電子化のいい部分。今後子どもの数が減ってきている。維持費を考えると一つに集約することになるか。どっちがやりやすいかメリットを考える。部活動地域移行で、企業にフレックス勤務を依頼し指導者を出してもらおう。行政が指導者認定を出して働きながら指導する。そういう企業が増えると教員の負担が減って垣根が減る。

**<H委員>**一後期の学校評価が上がっている。先生方が頑張っている。しかし、過度に負担にならないよう両面（教育に手をかけて。でも先生方疲れないように）でやってくれるといい。難しい問題だ。

**<I委員>**一アンケート結果をもとに改善してくれている。先生方が頑張りすぎないようお願いしている。CS会議を通して小中一貫校という意見があったが、訓子府にはどのようなスタイルがあっているのか。色々な世代・立場の人の中から意見をもらう。変化に対応するよう子どもたちのためになるよう、感じていることを言ってもらえればと思う。

**<J委員>**一勉強になりました。なるべく早く義務教育学校を作ってください。

**<K委員>**一このCS会議の立ち上げに関わったことがある。色々な学校の話聞いていて、各学校の代表が出てきていい所を話していくのがこの会議のいい所。後は義務教育学校がいいのかなと（個人的には思う）。また、子どもの意見も大事だと感じる。今の子だけでなく、OB・先生方と何とか考えていきたい。

**<L委員>**一各校の詳しい活動までは分からないが、写真等でいろいろ活動されているのがこの会議で分かるのがいい。訓子府町のこれからは、工夫と努力を重ねて子どもたちのために行ってほしい。小中一貫校と義務教育学校の差は分かるが、メリットがどうか。まだわからないことがある。1年間ありがとうございました。

**<教育長より>**一全員の方に貴重なご意見をいただきました。役立てていきたい。今後、訓子府の子どもたちにどうなってもらったらいいのか。子ども像を考えたり、子ども・保護者・地域の意見を聞いて作っていくのがCSである、と考える。訓子府には資源がある。他にもいろんな技（わざ）、知恵などを持っている人がいる。環境もいいものがある。それらを使って子どもを育てていく。

これからは子どもの数が減る。メリットデメリットを考え、教育で、地域で豊かにしていく。ネットも大事だが、リアルとバランスを考えなければならない。しかし、いろんな場面で育って行けると思う。夢を持つのも大事。自己有用感・自己肯定感が相互にかみ合っていくのが大事である。

子ども達も先生方も頑張っている。疲弊しないように。課題ある中で、関係機関と繋がりながら現場はやっている。今年度、CSで今後の訓子府の小中学校の在り方を扱わせていただいた。次年度は本格的に議論していかなければならないと考える。よろしく頼みます。

以上、第3回学校運営協議会の会議内容のまとめとなります。委員の皆様、ありがとうございました。